

「共通実践」レビュー 【記入例】

記入日 ●月 ●日(●)

(学び合い 部会) 授業者(国語科・◆◆ ◆◆)

【学校全体で目指す児童生徒の姿】

- ・自ら課題を見だし、解決に向けて粘り強く取り組む姿
- ・他者との対話を通して、考えを深める姿

【実践で目指した児童生徒の姿】 (9月 ●日 時点)

他者の発言をよく聞き、自分の考えと比較しながら対話する姿

【具体的な実践内容】は、
* 単元全体を通した手立て
* 一単位時間での手立て
* 一つの課題に対する手立て
など、授業者の課題に応じて柔軟に設定します。

【具体的な実践内容】(実践期間…9月2週目頃 単元「■■■■■■■■」全●時間)

- ・話し合い活動の例を示し、どのような話し合いが効果的であるか考える時間を設ける。
- ・生徒が必要を感じる場面で、目的を全体で確認してから話し合い活動を行う。



【実践の成果と課題】

児童生徒の具体的な学びの姿

《6月●日》

- 生徒A: 順番に言っていこう。
生徒B: 僕は、⑧がいいと思います。
生徒C: 私は、⑥かな。
生徒D: 私も。
生徒A: じゃあ、⑥にしようか。

意見を出し合うだけで、考えが深まっていなかった。



《9月●日》

- 生徒A: Bはどう思う？
生徒B: 僕は、この場面は最後の場面のための布石だと思う。
生徒C: 私もそう思う。同じ言葉だけれど、意味が違うから。逆に最後の方の意味が際立つんじゃない？
生徒D: そんなに意味が違うかな？僕には同じに思える。

質問したり、反論したりするようになった。

根拠を示しながら反論できていない生徒がいる。

成果

- ・自分とは違う考えを理解しようと質問する姿が見られた。
- ・互いの考えの違いを整理しながら、話し合う姿が見られた。

課題

- ・考えが深まるような質問や反論ができていない。
- (授業者の課題)
・一人ひとりの生徒が話し合い活動によって、どのように考えを深めたのかを十分に把握することができない。

ノートやワークシートの内容、授業中の発言や様子、振り返りの記述内容等、具体的な児童生徒の学びの姿を基に、実践の成果と課題を検証します。



★★★★★★★★★★★★★★★★ 改善策

☆次の実践で目指す児童生徒の姿

- ・根拠となる文や文章を示しながら、質問や反論し合うことで考えを深める姿
- ・自分の考えの広がりや深まりを振り返りに記述する姿

☆次の実践内容 (実践期間…10月3週目頃 単元「■■■■■■■■」全●時間)

- ・個人で考える段階で、根拠を確認しながら考えられるようシートを工夫し、事前に一人ひとりの生徒の考えを把握しておくことで、話し合いのグループ編制に生かす。
- ・授業中の気づきや学びの実感が分かる振り返りの記述を紹介する。